

進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No. 1
令和2年6月9日(火)

学校が再開されました。小中学部のある七日市校舎でも、高等部の校舎でも、児童生徒の元気な笑顔が見られています。

今年度の進路だよりでは、児童生徒の活動を始め、進路に関する基礎的な知識や、新しい情報を発信していきたいと考えています。

本校の学校運営方針の中に「小中高、一貫した指導（キャリア教育）」と「職業教育の充実」という項目があります。

本校では小学部・中学部・高等部それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を行っています。キャリア教育を通して子どもたちが「学ぶこと」「働くこと」「生きること」の尊さを実感できるようにしたいと願っています。



トマトの苗植え



手洗い



日直の仕事



作業学習（中学部）



作業学習（高等部）

キャリア教育の中で「働くこと」は、「自分の役割（責任）を果たし、誰かの役に立つこと」そしてそのことを自分自身が感じとり「自分が誰かの役に立っていると感じられること」と捉えます。

そうした理由から、広い意味で「働くこと」とは、一般企業等への就職はもちろんのこと、福祉施設等での作業や、生活支援を中心とした福祉サービスの利用等も含めて考えることができます。

小学部（校）、中学部（校）、高等部の12年間の学校生活全体の中で「働く力」を身につけることがとても大切な課題の一つとなります。

これまで私がお会いした一般企業採用担当者の方々や福祉施設での受け入れを担当される立場にいる方々から聞いたお話で共通することは、「仕事内容は、職場に入ってから覚えても間に合う」ということです。それよりも在学中には、『働くために必要な力』をしっかり身につけておいてほしいのだそうです。皆さんが異口同音におっしゃることは、「あいさつができること」「家でのお手伝いができること」「体力があること」そして「気持ちの素直さがあること」です。

学校（高等部）卒業後の進路、というと小学部や中学部の保護者の方は、「まだまだ先の話」とお考えかもしれません。また、「小学部のうちに何をすればよいのかわからない」とお困りの方もおられると思います。しかし、実は小学部のうちから準備できるや、小さな頃からの積み重ねが大切です、後ではなかなか身につかない、ということもあるかと思えます。その第一歩が「あいさつ」です。日常生活の中で繰り返すことで、その子の力として定着していくところが大きいと思われる「あいさつ」や「お手伝い（役割）」。

ぜひ、ご家庭でも意識していただけたらとお願い申し上げます。

